

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。  
秘書広報課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



山本会長らと市内で子ども食堂を営む事業者

### 子どもたちの未来のために

■**榛南ロータリークラブが子ども食堂に米を寄贈**  
榛南ロータリークラブは10月15日、榛南地区の子ども食堂運営事業者に米を寄贈しました。貧困を次世代に引き継がないためにどんな境遇の子どもも未来に希望を抱き、笑顔で暮らせる社会づくりを目的とする「子ども食堂支援事業」の一環。当日は、市内で同食堂を営む事業者のうち、3事業者に対して各30キロ、山本明男会長から贈呈しました。食堂の運営事業者は、「米不足なのでとてもありがたい」「誰でも来てほしい」と話しました。

### 国際メジャー大会向け激戦繰り広げる

■**ゴースンカップ・スウィングビーチ牧之原国際レディースオープンテニストーナメント2024**  
国際テニス連盟公認「ゴースンカップ・スウィングビーチ牧之原国際レディースオープンテニストーナメント2024」が10月27日から11月3日まで、静波リゾート・スウィングビーチと榛原総合運動公園ぐりんぱるで開催されました。これは、日本の女子選手が世界で活躍することを願って創設され、国内外のメジャー大会へ出場するための登竜門になる国際大会です。シングルスは清水綾乃選手が7年ぶりの優勝、ダブルスは森崎可南子・清水映里ペアが優勝しました。



激しくボールを打ち合う選手

### サーフィン体験で移住・定住のきっかけ作りに

■**サーフィン移住体験ツアー**  
市は10月と11月の2回、県外在住の女性対象のサーフィン移住体験ツアーを開催しました。本市への移住・定住の促進を目的に、国内唯一の人工造波施設がある環境で女性が安心してサーフィンのある生活を体験してもらうために、1泊2日のツアーを実施。各回10人が参加し、サーフィン体験や市内見学などを行いました。参加者は、「地元の人の温かさや海と共生する生活を感じられた」「先輩移住者や参加者同士での交流もできて良かった」と感想を話しました。



2日目の朝には静波海岸でビーチヨガを実施する参加者



ステージで舞踊を発表する出演者

### まちの文化を作り育てる祭典

■**第19回 牧之原市文化祭「芸能発表会」**  
第19回牧之原市文化祭「芸能発表会」が10月6日、い〜らで開催されました。市文化協会の会員により企画運営される発表会には、総勢50組の個人や団体が参加し、出演者は歌やダンス、大正琴、吟詠、ギター、剣舞など、日ごろの練習の成果をステージで披露しました。また、会場には限定100席のお茶席や相良華道連盟と相良水墨画会による作品展示の他、屋外では軽トラ市も開かれ、多くの来場者は楽しめました。



的に向けて矢を放つ弓矢体験

### 肌で歴史を感じる体験授業

■**発掘出土品展で古代体験授業**  
里帰り展「縄文時代の道具～勝田井の口遺跡・ミョウガ原遺跡の出土品～」関連企画の古代体験授業が10月3日、坂部区民センターで開催されました。授業は坂部小学校の全児童126人を対象に、県保有の市内発掘出土品である黒曜石のナイフやヤジリなど計100点以上の出土品紹介や、弓矢や石器での試し切り体験が行われ、多くの児童が真剣な眼差しで自分たちの故郷の歴史を学びました。同展は11月28日まで開催されています。

### 被災時に役に立つ人になって

■**榛原中学校全校道徳授業「地震体験」**  
榛原中学校全校生徒は10月3日、同校で全校道徳として地震体験についての授業を受けました。まず、学校運営協議会の杉山広美さんが石川県能登地方でのボランティアで見聞きした避難所の様子やトイレ問題などを紹介しました。また、実際に能登半島地震で被災した久保いみさんを招き、体験談や被災して気が付いたことなどを話していただきました。久保さんは「震災は苦だけではない。人生を諦めてはいけない」と生徒達へ貴重なメッセージを送りました。



実際の避難所の写真を見せながら講話する久保さんらと杉山さん

### 地域住民と楽しく日本語を学ぶ

■**はじめての日本語教室**  
市では9月から、日本語が分からない外国籍住民を対象とした「はじめての日本語教室」を開催しています。この教室は、外国籍住民の学習者と公募の日本人サポーター（ボランティア）が日本語で交流しながら、日常生活に必要な言葉や知識を身につけてもらおうと、今年で4年目の実施となります。12月上旬まで食べ物や仕事、ごみの出し方、買い物など、日常生活のさまざまな場面をテーマに開催していきます。



10月13日の第3回目の教室では、ごみの分別について学んだ



梅太郎博士が発見したビタミンB1「オリザニン」の広告物も展示

### 郷土の偉人の功績を見て学ぶ

■**企画展「まきのはらを築いた人々V～郷土の偉人～」**  
企画展「まきのはらを築いた人々V～郷土の偉人～」が9月28日から12月27日まで、市史料館で開催されています。11月24日まで開催されている第2期は、今年生誕150年を迎える世界初のビタミン発見者である鈴木梅太郎博士を特集。遺品の絵はがきや手紙、文化勲章などを展示しており、市内外から訪れた来場者はその生涯や功績を学ぶことができます。企画展は一度入場券を購入すれば、開催中何度でも入場することができます。